

没後130年

# 河鍋暁斎

鬼才! Kyosai!

## 本展のみどころ

### 1 河鍋暁斎の幅広い画業がわかる

暁斎の魅力のひとつは、様々な作品を制作したことです。掛軸や絵巻、屏風や絵馬や引幕に描いた絵画作品だけでなく、暁斎が手がけた錦絵、挿絵本、工芸品など、幅広い種類の作品が展示されます。

### 2 幕末明治期の広い交流関係・ネットワークがわかる

暁斎の幅広い画業の背景には、幕末明治期の人的ネットワーク、芸術交流があります。例えば、コンドル、ギメ、ベルツといった当時日本に滞在していた外国人との交流を背景にもつ作品、神社、寺へ奉納された作品、そして、明治憲法発布を記念して制作された作品などが展示されます。

### 3 制作プロセスがわかる

河鍋暁斎記念美術館にはおよそ 2,200 点の「下絵類」が収蔵されています。「下絵類」とは、下絵（実際に完成作品が存在するもの）、版下絵（錦絵制作のための作品）、画稿（構想中のもの、部分的なもの）、写生（実際に見て描いたもの）などを示します。暁斎の観察力、洞察力、写生力、描写力を示すこれらの下絵類が数多く展示されます。

### 4 ベルツコレクションが里帰り

暁斎と親交の深かったお雇い外国人エルヴィン・フォン・ベルツの旧蔵品で現在ドイツのビーティヒハイム・ピッシンゲン市立博物館所蔵の暁斎作品が展示されます。「日本最大の画家」と言うほど暁斎の表現世界を高く評価したベルツだけあって、暁斎の代表的作品を収集していました。



1) 《美女の袖を引く骸骨たち》明治時代  
ビーティヒハイム・ピッシンゲン市立博物館  
\*通期展示（4章展示作品）

## 開催趣旨

幕末から明治初年にかけて活躍した河鍋暁斎（1831-89）は、幅広い画業で知られています。歌川国芳から浮世絵を学び、また狩野派にも入門し伝統的な官学派の絵画を学ぶ経歴を持つ暁斎は、当時の画家や日本に滞在・居住していた外国人との交流のみならず、寺院や神社、版元・出版社、料亭や老舗商店、能や歌舞伎といった広範囲にわたる人々との交友・受注関係を培いながら多様な作品世界を展開しました。彼らとの親交のなかで暁斎は時代の状況を敏感に感じ取り、時に体制批判の精神を研ぎ澄まし、また一方で日本的な人間・自然観、身体観、死生観といったテーマを独自の視線で掘り下げ、屏風や掛軸、巻物や画帖といった無数の作品を作り上げました。

本展では、暁斎の多様な作品群を紹介しながら、「写生帖」や「日記」、「下絵」や「画稿」なども展覧し、暁斎の「眼」、すなわち見る、捉える、表現するといった制作の様相を企画の照準に据えます。一方で、幕末明治の表現を検証する手がかりとしての「ネットワーク」というキーワードのもと、暁斎が手がけた錦絵や挿絵本、工芸作品なども含めて展覧します。すなわち、暁斎の創造力と時代のネットワークを合わせ鏡のように考察することによって、本展は暁斎の作家・作品像を再検証し、その時代的、芸術的意義を問います。

明治中期にはアーネスト・フェノロサや岡倉天心によって西洋近代主義的芸術論が定着します。その観念中心主義のジャンル論によって、「日本画」、「洋画」、「版画」といった分野、そして様式による時代区分も形成されていきます。本展は、移植によってつくられたジャンルも、江戸や明治という時代区分も軽々と横断する河鍋暁斎の真価を浮き彫りにします。

## 開催情報

### 特別展「没後130年 河鍋暁斎」

会期 2019年4月6日（土）～ 5月19日（日）  
**【前期展示：4月6日（土）～4月29日（月・祝）】【後期展示：4月30日（火・休）～5月19日（日）】**  
 開館時間 午前10時～午後6時（金・土曜日は午後8時まで） 入場は閉館の30分前まで  
 休館日 月曜日（ただし4月29日（月・祝）、5月6日（月・休）は開館）および5月7日（火）  
 会場 兵庫県立美術館  
 （〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 TEL:078-262-0901 <https://www.artm.pref.hyogo.jp>）

主催 兵庫県立美術館、毎日新聞社、朝日放送テレビ、神戸新聞社  
 後援 公益財団法人伊藤文化財団、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会  
 特別協力 公益財団法人河鍋暁斎記念美術館  
 監修 河鍋楠美（公益財団法人河鍋暁斎記念美術館理事長・館長、河鍋暁斎曾孫、医学博士）  
 協賛 野崎印刷紙業、TKG Foundation for Arts & Culture

観覧料金 一般1,400（1,200）円、大学生1,000（800）円、70歳以上700（600）円、2枚セット券（前売・一般のみ）2,000円  
 ※高校生以下無料  
 ※（ ）内は前売および20名以上の団体料金。前売り券は2月1日（金）から4月5日（金）まで販売。70歳以上は前売りなし。  
 ※障がいのある方（70歳以上を除く）は当日料金の75%割引、その介護の方1名は無料。  
 ※大学生、70歳以上の当日券の購入および障がい者割引の適用には証明が必要。割引を受けられる方は、会期中に美術館窓口で入場券をお買い求めください。  
 ※コレクション展は別途観覧料が必要（本展とあわせて観覧される場合は割引あり）。  
 ※主な販売場所：兵庫県立美術館ミュージアムショップ（前売のみ）、チケットぴあ（Pコード：769-503）、ローソンチケット（Lコード：57170）、セブンチケット、イープラス、CNプレイガイド、阪神プレイガイド（阪神梅田駅）ほか京阪神のプレイガイド。  
 ※金額はいずれも消費税込金額です。

## 【1章】幅広い画業

幕末明治期の「画家」は、現在のその言葉の意味内容では捉えきれないさまざまな生業に従事していました。暁斎は、寺社や商店や個人をはじめとした様々な人との関係を培いながら、掛軸や屏風、絵馬といった幅広い種類の作品を彼らのためにつくりました。また一方で、明治時代ならではの「憲法発布」といった行事を記念して作られた作品もあります。多くの画題を様々な表現技法で描いた暁斎の画業を紹介しながら、幕末明治期の「美術」のあり方も考察します。



2) 《九尾の狐凶屏風》明治3（1870）年以前 河鍋暁斎記念美術館  
 \*通期展示



3) 河竹黙阿弥作『漂流奇譚西洋劇』《パリス劇場表掛りの場》  
 明治12（1879）年 GAS MUSEUM がす資料館 \*前期展示



4) 《大森彦七鬼女と争う図》明治13（1880）年 成田山靈光館  
 \*通期展示

## 【2章】 眼の思索 下絵からはじまるネットワーク

河鍋暁斎記念美術館にはおよそ2,200点の「下絵類」が収蔵されています。「下絵類」とは、下絵（実際に完成作品が存在するもの）、版下絵（錦絵制作のための作品）、画稿（構想中のもの、部分的なもの）、写生（実際に見て描いたもの）などを示します。無数の下絵類は、暁斎の鋭い観察力、洞察力、写生力、描写力を示す重要な証です。また暁斎の物事へのこだわりも感じられます。完成作品ではあまり見られない作家の試行錯誤する「身体」の行為（描く動作）、「眼」（対象をどのようにとらえるか）の軌跡がここにはあります。幕末明治期の幅広い人的・芸術的ネットワークを基に実現された暁斎作品。制作プロセスの最も初期段階である下絵類にみる彼の豊かな芸術世界を紹介します。



5) 《惺々暁斎下絵帖》弘化3(1846)年 - 明治17(1884)年  
 河鍋暁斎記念美術館 \*通期展示(頁替え)



6) 《骸骨の茶の湯 下絵》制作年不詳 河鍋暁斎記念美術館  
 \*前期展示



7) 《鳥獣戯画 猫又と狸 下絵》制作年不詳  
 河鍋暁斎記念美術館 \*前期展示

### 【3章】民衆の力

暁斎は天保8年（1837）、浮世絵師の歌川国芳に入門しました。暁斎は国芳のもと写生の重要性を学ぶと同時に、浮世絵の重要な要素である諷刺、批評的精神を培ったと言われています。幕末明治期は、政治や社会の劇的な変動がありました。例えば明治初年にはこれまで見られなかった新しい建造物が作られ、また新しい出来事がたくさんあり、人々の興味を引いていました。こうした事物を暁斎は錦絵の絵師として描き、また時に新政府や体制側を面白おかしく諷刺・批判する作風を全面に押し出して錦絵を作りました。本章ではこうした数々の錦絵に加えて、暁斎が手がけた挿絵本、工芸品のデザイン、そして多くの文化人が行き交った書画会を描いた作品も展示し、暁斎のイメージ・ワールドがどのように幕末明治期の人々に浸透していたかを展観します。



8) 《風流蛙大合戦之図》元治元（1864）年 河鍋暁斎記念美術館 \*前期展示



9) 《東京名所之内 上野山内一覽之図》明治14（1881）年 河鍋暁斎記念美術館 \*後期展示

**【4章】身体・精神をつむぐ幕末明治**

いつの時代も人々の関心ごとは、自分の身体、そして「生と死」ではないでしょうか。暁斎の描く内容は多岐に渡り、いろいろな人々のために作られましたが、暁斎の身体表現、生・死にまつわる表現内容は当時から人々の関心を集めてきました。「リアル」という形容がふさわしい彼の描く身体や、生々しい地獄や幽霊像は、生きることと死ぬことに常に思いを巡らす私たち人間の内的世界のもろさ、はかなさ、そして複雑さにも言及しています。また暁斎は晩年、観音像を日課として記す《日課観音》を描き続けました。観音は東アジアにおいて歴史的に人々の生活に浸透してきた像ですが、明治初年は観音像が特に多くの画家によっても描かれた時期でした。幕末明治の人々の心情の変化とも重なる暁斎の描く身体・精神世界の奥行きを、暁斎の代表的な作例を通して考察します。《特集展示》では、暁斎と親交の深かったお雇い外国人エルヴィン・フォン・ベルツの旧蔵品で現在ビーティヒハイム・ビツシンゲン市立博物館（ドイツ）所蔵作品を展示します。



10) 《閻魔庁図》明治12（1879）年以降 熊本県立美術館 \*後期展示

11) 《処刑場跡描絵羽織》明治4（1871）年 京都府（京都文化博物館管理）  
\*前期展示12) 《白衣観音図》明治前半  
河鍋暁斎記念美術館 \*前期展示

### 1. 記念講演会「河鍋暁斎のすべて」

講師：河鍋楠美（公益財団法人河鍋暁斎記念美術館理事長・館長、河鍋暁斎曾孫、医学博士）

日時：4月7日（日）午後2時より（約90分）

会場：ミュージアムホール

定員：250名 聴講無料（要観覧券）

### 2. 記念解説会「河鍋暁斎の創造性—写生からの展開」

講師：加美山史子（公益財団法人河鍋暁斎記念美術館主任学芸員）

日時：4月28日（日）午後2時より（約90分）

会場：レクチャールーム

定員：100名 聴講無料（要観覧券）

### 3. 対談「ふたつの暁斎展」

講師：池田美美（サントリー美術館主任学芸員）、村田大輔（当館学芸員）

日時：4月21日（日）午後2時より（約60分）

会場：レクチャールーム

定員：100名 聴講無料（要観覧券）

### 4. 学芸員による解説会

講師：当館学芸員

日時：5月19日（日）午後2時より（約45分）

会場：レクチャールーム

定員：100名 聴講無料（要観覧券）

### 5. およこ解説会

日時：4月13日（土）午前10時半より（約90分）

会場：レクチャールーム他

定員：20組（要事前申込、先着順）

こどものイベント係 TEL: 078-262-0908（3月13日（水）午前10時より受付開始）

### 6. こどものイベント

日時：5月4日（土）午後1時半より（約90分）

※詳細はこどものイベント係へお問い合わせください。

こどものイベント係 TEL: 078-262-0908（4月4日（木）午前10時より受付開始）

### 7. ミュージアム・ボランティアによる解説会

日時：会期中毎週日曜日 午前11時～（約15分）

会場：当館レクチャールーム（定員100名）

## お問い合わせ先

兵庫県立美術館

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

TEL: 078-262-0901 (代) FAX: 078-262-0903 (代)

<https://www.artm.pref.hyogo.jp>

取材・画像提供に関すること

営業・広報担当

TEL: 078-262-0905 (担当直通) FAX: 078-262-0903

展示内容に関すること

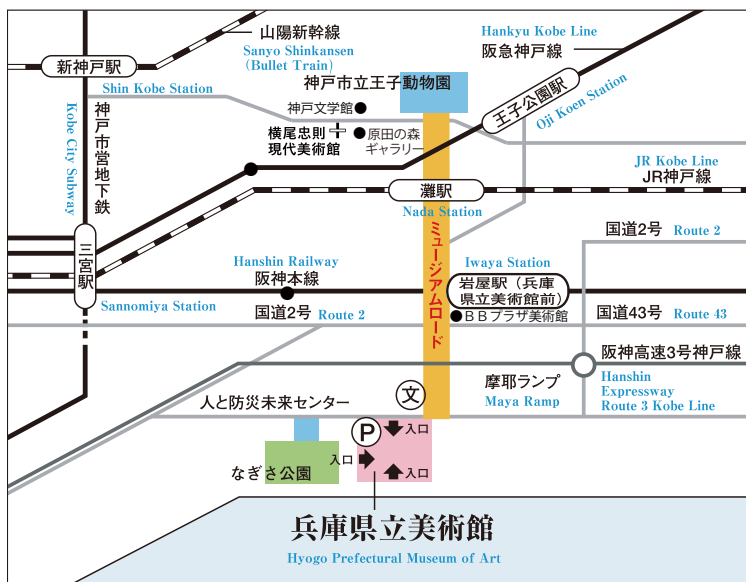
担当学芸員：村田大輔、西田桐子

e-mail: [murata@artm.pref.hyogo.jp](mailto:murata@artm.pref.hyogo.jp)

TEL: 078-262-0909 (学芸直通) FAX: 078-262-0913 (学芸直通)

## 【交通案内】

- ・ 阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から南に徒歩約8分
  - ・ JR神戸線灘駅南口から南に徒歩10分
  - ・ 阪急王子公園駅西口から南西に徒歩約20分
  - ・ JR三ノ宮駅南から神戸市バス（29、101系統）阪神バスにて約15分  
HAT神戸方面行き「県立美術館前」下車すぐ
  - ・ 地下駐車場（乗用車80台収容・有料）
- \*ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください  
 \*団体バスでお越しの場合は、バス待機所のご予約をお願いします。



## 画像使用に際しての注意

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。末尾の「申込書」をご使用ください。

○作品画像を媒体掲載される際には、「申込書」に記載の作品名・制作年・所蔵などを必ず入れてください。

○作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなど画像の加工・変更はできません。

○画像データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません（会期終了まで）。

○再放送、転載など二次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。

○Webサイトに掲載する場合は、別画像（同図版）をご用意しております。

○基本情報、図版使用の確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で「営業・広報担当」までお送り願います。

○展覧会場の取材、撮影をご希望の場合についても、「営業・広報担当」までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。

○本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体（VTR/DVD）、URLなどを、「営業・広報担当」宛てに、1部お送りくださいますようお願いいたします。



## 広報画像申込書

特別展「没後 130 年 河鍋暁斎」 2019 年 4 月 6 日（土）— 5 月 19 日（日）

※前頁「画像使用に際しての注意」をご一読のうえ、ご希望の画像の番号に○をつけてください。

1	《美女の袖を引く骸骨たち》明治時代	ビーティヒハイム・ビッシンゲン市立博物館	* 通期展示
2	《九尾の狐図屏風》	明治 3（1870）年以前	河鍋暁斎記念美術館 * 通期展示
3	河竹黙阿弥作『漂流奇譚西洋劇』《パリス劇場表掛りの場》	明治 12（1879）年	GAS MUSEUM がす資料館 * 前期展示
4	《大森彦七鬼女と争う図》	明治 13（1880）年	成田山霊光館 * 通期展示
5	《惺々暁斎下絵帖》	弘化 3（1846）年 - 明治 17（1884）年	河鍋暁斎記念美術館 * 通期展示（頁替え）
6	《骸骨の茶の湯 下絵》	制作年不詳	河鍋暁斎記念美術館 * 前期展示
7	《鳥獣戯画 猫又と狸 下絵》	制作年不詳	河鍋暁斎記念美術館 * 前期展示
8	《風流蛙大合戦之図》	元治元（1864）年	河鍋暁斎記念美術館 * 前期展示
9	《東京名所之内 上野山内一覽之図》	明治 14（1881）年	河鍋暁斎記念美術館 * 後期展示
10	《閻魔庁図》	明治 12（1879）年以降	熊本県立美術館 * 後期展示
11	《処刑場跡描絵羽織》	明治 4（1871）年	京都府（京都文化博物館管理） * 前期展示
12	《白衣観音図》	明治前半	河鍋暁斎記念美術館 * 前期展示

●貴媒体についてお知らせください。

○貴社名：

○媒体名：

（新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・ウェブサイト・その他）

※ウェブサイトへ掲載ご予約の場合、別画像（同図版）をご用意しております。

○ご担当者名：

○メールアドレス：

ご連絡先 ○電話番号：

○FAX 番号：

○ご住所： 〒

○URL：

○掲載・放送予定日：

○画像到着希望日：

○読者・視聴者プレゼント用招待券： 組 名 様分を希望

（最大 5 組 10 名まで。本展を媒体でご紹介いただける場合に限りです）